



講師インタビュー：視覚を超えて、重さで違いを楽しめる世の中を作る人

今日は、2025年3月14日(金)15時より開催予定の「グラマ DE&I ワークショップ体験セミナー」で講師を務めてくださる、一般社団法人ビーラインドプロジェクトの代表理事一般社団法人ビーラインドプロジェクトのお二人にお話をお伺いしました。

1. 現在の仕事や活動について教えてくださいませんか？

浅見幸佑さん(以下、浅見さん)：
現在、私は一般社団法人ビーラインドプロジェクトの代表理事として活動しています。また、立教大学の4年生として、文学を中心に学んでおり、哲学や古今和歌集など文学作品に関する授業も受けています。

そして、資格障害のある方々となない方々が共に楽しめる社会づくりを目指し、様々なプロジェクトを展開しています。

三浦輝さん(以下、三浦さん)：
私は早稲田大学の国際教養学部にも所属し、特に日本と中国の関係に関する研

究を行っています。社会的な課題にも関心を持ち、ビーラインプロジェクトの副代表としても活動しています。

2. 今回開発したプログラムについて教えてくださいませんか？

浅見さん：
ビーラインドプロジェクトでは、「見ても見なくても見えなくても楽しめる、増やして一緒にワクワクする世界へ」という理念を掲げています。この理念に基づいて、資格障害のある人となない人が一緒に楽しむ瞬間を増やすことを目指し、3つの事業を展開しています。

一つ目が「プロダクト開発・販売事業」として楽しめるものを作ること。2つ目が「イベント事業」として、一緒に楽しめる場を提供すること。3つ目が「研修事業」として人を育てることです。

これらを通じて、より多くの人々に「楽しむ瞬間」を提供しています。

(裏面に続く)

Next Seminar



Feb,12,2025

「ワンダーワールドツアー」研修体験セミナー

今回は、多様性理解を深め、チームワークを強化する体験型研修として、「ワンダーワールドツアー」は、多様な特徴を持った旅行者になりきり、疑似体験を通して共生社会について深く学べるゲームを使った研修の体験セミナーです。詳細はこちらです。

<https://entrelabo.co.jp/public>



Feb,28,2025

ジョブクラフティング(自分活躍推進)研修体験セミナー

自分の強みや価値観を再認識し、周囲の期待を理解することで、仕事にやりがいを見出し、モチベーションを高めることができるジョブクラフティング研修(自分活躍推進)体験セミナーです。

詳細はこちらです。

<https://entrelabo.co.jp/public>



Mar,5,2025

経営者・人事担当者必見! ~カスハラ対策の第一人者・津田卓也氏が徹底解説!最新事例から学ぶ「カスハラ対策の最前線」

本セミナーでは、カスハラ対策の第一人者である津田卓也氏を講師にお迎えし、最新の事例や法を踏まえた効果的な対応策について深く学び機会をご提供します。

詳細はこちらです。

<https://entrelabo.co.jp/public>



お二人との出会いは、本当に偶然で、実は以前にもご紹介した「ワンダーワールドツアー研修」の体験をするために、都内で行われたイベントにお伺いした際に、重さを使った研修をしていることを知り、そこでお問い合わせをさせていただいたのがきっかけです。

3.「グラマ」を開発したきっかけについて教えてくださいいただけますか？

三浦さん：

過去に、私たち自身が鬼ごっこやテレビゲームを通じて仲良くなった経験から、「視覚障害のある子供もいない子供も一緒に遊べるものを作ろう」と考え、このゲームが誕生しました。

4.「グラマ」を通じて、目指すことや解決したいことは何ですか？

浅見さん：

このゲームは、障害の有無に関わらず、誰もが一緒に楽しめる瞬間を増やすことを目的に作成しました。ゲームを通じて、違いを感じながらも共に楽しむことができ、相互理解が進むことを目指しています。

5. ボードゲーム「グラマ」の特徴について教えてください。

三浦さん：

「グラマ」の特徴は3つあります。一つ目が「同じルールで一緒に楽しむ」ことです。資格障害のある人もない人も、手の感覚やコミュニケーションを通じて楽しむことができます。二つ目が「協力型ゲーム」であること。このゲームには勝ち負けがなく、4人で協力して成功を目指します。三つ目が「コミュニケーションを重視」すること。勝って楽しい、負けて悔しいということではなく、遊んだ人同士が互いのことをよく知り、コミュニケーションを深めることができるゲームです。

6. ボードゲーム「グラマ」の研修のこだわりを教えてください。

浅見さん：

研修で資格障害の当事者をスタッフとして迎え、一緒にゲームを楽しみながら、障害理解やダイバーシティを深めます。ゲームという遊びを通じて、視覚障害に関する理解高まる体験を提供しています。

7. 研修を受けた人の反応はどうですか？

浅見さん：

視覚障害のない方々からは、「視覚障害のある人もこんなに笑うんだ！」という反応を多くいただきました。実際に一緒に遊ぶことでお互いの理解が深まります。

三浦さん：

視覚障害のある方々からは、「同じルールで楽しむことができる」という新たな体験に喜びの声をいただいています。特に、目が見える人とゲームを一緒に遊べないルールが多いですが、このゲームではすべての参加者が同じルールで楽しむことができます。この点は特に新しい体験を提供できていると思います。

8. 企業がこの研修を導入する理由を教えてください。

浅見さん：

企業で研修を実施する理由はさまざまですが、例えば、事業部の懇親会やチームビルディングの一環として、普段とは違うコンテンツで楽しみたいという要望があります。

9. 最後に、このプログラムを通じて伝えたいメッセージは何ですか？

浅見さん・三浦さん：

私たちは、障害のある人とない人が一緒に楽しめる瞬間を増やしていくことに重点を置きながら事業を展開しています。「グラマ」は、資格障害のある人もない人も共に楽しむことができるゲームです。遊びながらお互いを理解し、共に楽しむことができます。違いを楽しみながら、学び、新しい社会を一緒に作り上げていきましょう。

インタビューの全編は下記をご覧ください。

<https://x.gd/ljUYz>

お二人が講師を務める「グラマ DE&I ワークショップ体験セミナー」の詳細は下記をご覧ください。

詳細

<https://entrelabo.co.jp/public>

お申込みはこちらです。

<https://entrelabo.co.jp/public#registration>

Under Planning



ピククルボールを使った研修

アメリカで大人気のスポーツ、ピククルボールを使ったコミュニケーション、チームビルディング研修を企画中です。

また詳細はアントレ・ラボ通信でもご紹介させていただきますので、ご興味のある方は是非ともご参加いただければと思います。

研修受講報告

2024/12/12 MBTIを活用したコミュニケーション研修実施報告



先日とある企業の人事担当者様たち向けに「MBTIを活用したコミュニケーション研修」を実施して頂きました。

講師は、スポーツ心理学博士の布施努さんです。今回は人事担当者様向けということで、MBTIを通じて、自己理解と他者理解を深めることで、組織における多様性を活かしてより高いパフォーマンスを発揮できることを目指す目的で実施しました。

参加者の皆様には、自分の持つ思考や行動特性への理解を深めてもらうと同時に、反対のタイプの持つ思考や行動特性についても学び、理解をしてもらうことができたのではないかと思います。